

# こども保育学科 [2年制 / 男女]

## AP

### 入学者の受け入れ方針

アドミッションポリシー

こども保育学科では、卒業認定・専門士授与の方針(DP)および教育課程編成・実施の方針(CP)に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

- 1 穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人
- 2 保育を学ぶための基礎的な学力を身につけている人
- 3 協調性、主体性、素直に聞く態度、目標を達成しようとする態度を身につけている人
- 4 子どもに対し愛情深く、高い志を持って社会に貢献する意欲を持つ人

## CP

### 教育課程編成・実施の方針

カリキュラムポリシー

こども保育学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

- 1 専門的な知識と技術の習得を図るため実践的カリキュラムを構成する
- 2 「学習の習慣」を身につけ、「自己効力感」を育て、「成長を実感」できる体験を提供する
- 3 保育者としての使命感や責任、愛情について学ぶ場を提供する

## DP

### 目指す人材像

ディプロマポリシー

こども保育学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

- 1 地域社会・国際社会に貢献できる保育技術を身につけている
- 2 子どもの命と成長を守る高度な専門性と広い基礎知識、地域を支え、家族を支える幅広い視野を身につけている
- 3 子どもに寄り添い家族に温かく接する心、感謝の気持ちと笑顔、豊かな対話により周囲と協力する態度を身につけている
- 4 専門知識と観察力を背景とした多彩な保育を身につけている

## 目指す資格

- 保育士 [国家資格]
- 幼稚園教諭2種免許 [国家資格]
- 社会福祉主事 (任用資格)

	1 年 次		2 年 次	
	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>
<b>到達目標</b>	保育・教育の本質を理解する。保育の内容について基礎的な技術を身につける。	幼児理解を深め、保育者としての力を身につける。実習を通して観察する力を育む。	特別な配慮が必要な幼児への理解と支援方法を学ぶ。子育て支援からみる保護者との関わり方を理解する。教育・保育実習を通して、現場で通用する保育技術を学ぶ。	心理学を通して、発達過程・心の理解・心の疾患について知識を深める。現場で活躍できる保育者として、保育観を確立し、今後の課題を見つける。
<b>一般教養科目</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本国憲法</li> <li>生涯スポーツ</li> <li>健康科学</li> <li>英会話 I</li> <li>情報処理入門 I</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本国憲法</li> <li>生涯スポーツ</li> <li>社会人基礎講座 I</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会人基礎講座 II</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会人基礎講座 II</li> <li>情報処理入門 II</li> </ul>
<b>保育の本質目的に関する科目</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉</li> <li>社会的養護 I</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育原理</li> <li>保育者論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育原理</li> <li>子ども家庭福祉</li> <li>子ども家庭支援論</li> </ul>	
<b>保育の対象の理解に関する科目</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児の心理学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの理解と援助</li> <li>こども学概論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育の心理学</li> <li>精神保健</li> <li>子どもの保健</li> <li>子どもの食と栄養</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育の心理学</li> <li>子ども家庭支援の心理学</li> <li>青年心理学</li> <li>子どもの保健</li> <li>こどもと文学</li> </ul>
<b>カリキュラム</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育課程総論</li> <li>保育内容総論</li> <li>健康 (指導法)</li> <li>造形表現 (指導法)</li> <li>音楽表現 (指導法)</li> <li>言葉 (指導法)</li> <li>幼児と人間関係</li> <li>人間関係 (指導法)</li> <li>幼児と環境</li> <li>環境 (指導法)</li> <li>劇あそび (指導法)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育課程総論</li> <li>乳児保育 I</li> <li>造形表現 (指導法)</li> <li>幼児と音楽表現</li> <li>幼児と言葉</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会的養護 II</li> <li>子育て支援</li> <li>幼児への特別な支援</li> <li>乳児保育 II</li> <li>幼児と健康</li> <li>幼児と造形表現</li> <li>音楽表現技術</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害児保育</li> <li>子どもの健康と安全</li> <li>健康 II</li> </ul>
<b>教職に関する科目</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育方法論</li> <li>保育演習 I</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育演習 I</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育相談</li> <li>保育演習 II</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業研究</li> </ul>
<b>その他</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>保育実習 I (保育所)</li> <li>保育実習 I (施設)</li> <li>保育実習事前事後指導 I</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育実習事前事後指導 II</li> <li>保育実習事前事後指導 III</li> <li>教育実習事前事後指導 II</li> <li>教育実習 I・II</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育実習 II (保育所) (選択)</li> <li>保育実習 III (施設) (選択)</li> <li>保育・教職実践演習</li> </ul>
<b>スケジュール</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入学前学習</li> <li>入学式</li> <li>オリエンテーション</li> <li>穴吹祭</li> <li>夏休み</li> <li>スポーツ大会</li> <li>保育実習 I (保育所)</li> <li>保育実習 I (施設)</li> <li>卒業制作発表会見学</li> <li>冬休み</li> <li>春休み</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>就職研修</li> <li>教育実習 (1回目)</li> <li>教育実習 (2回目)</li> <li>穴吹祭</li> <li>夏休み</li> <li>スポーツ大会</li> <li>保育実習 II または III</li> <li>冬休み</li> <li>保育士資格申請</li> <li>幼稚園教諭資格申請</li> <li>卒業制作展</li> <li>卒業制作発表会</li> <li>卒業式</li> </ul>	

主な科目内容	
<b>情報処理入門 I・II</b>	パソコンの仕組みや歴史など基本的なことを学習する。また、ワープロソフトのWordや表計算のExcelなどを学習することにより、就職現場において効率的な業務を行なえるようになる。
<b>社会人基礎講座 I・II</b>	働くとはどのようなことなのかをベースにライフサイクルと仕事について考えていく。また、社会人としての一般常識を中心に授業を行う。
<b>子ども家庭福祉</b>	現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷を理解した上で、子どもの人権擁護・子ども家庭福祉の制度と実施体験を学ぶ。
<b>保育者論</b>	保育者の役割・職務内容と倫理について理解する。保育者の連携・協働について学び、保育者の資質向上とキャリア形成について学ぶ。
<b>保育の心理学</b>	保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達を捉える視点について学び、心理学の基礎を習得し、養護及び教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子どもへの理解を深める。
<b>子どもの食と栄養</b>	健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を習得し、子どもの発育・発達と食生活の関連について理解する。
<b>幼児と音楽表現</b>	和音感、リズム感などピアノの力をつける。その上で、子どもの経験や様々な表現活動と音楽表現を結びつける遊びの展開などにも視点を向けていく。
<b>幼児と健康</b>	子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と、保育所保育指針に示される保育の内容を理解した上で、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する。
<b>幼児と人間関係</b>	乳幼児期の発達と領域「人間関係」を理解する。子どもと保育者の関わり、遊びの中の人との関わり、生活を通して育つ人との関わりを学ぶ。
<b>幼児と環境</b>	乳幼児期の発達と領域「環境」を理解する。子どもを取り巻く環境の変化を理解し、子どもの発達と環境の関係性について学ぶ。
<b>幼児と言葉</b>	子どもが生活の中で、経験したことや考えたことなど、自らが自分なりのことばで表現し、相手の話すことばを聞くことに対する意欲や態度を育て、ことばに対する感覚やことばで表現する力を養う。また、絵本や紙芝居の読み聞かせなど実践的な学習をする。
<b>幼児への特別な支援</b>	障がい児、その他の特別な配慮を要する子どもについて、保育における計画の作成や援助の具体的な方法と、家庭への支援や関係機関との連携・協働について理解する。
<b>青年心理学</b>	青年期における、発達の特徴、身体発達、知的発達、自己形成、人間関係の発達、社会的発達、青年と文化、精神病理現象と、青年期への心理的援助等について学ぶ。
<b>保育演習 I・II</b>	保育現場で生かせる保育者としての専門的な技術(手遊び・歌・絵本・おりがみ・あやとり等)を習得する。また、保育園や幼稚園で実践的な保育を経験し、保育者としての技術と子どもへの言葉かけや立ち居振る舞いなどを学ぶ。
<b>保育・教職実践演習</b>	学習を通して身につけた「保育者に求められる知識・技術・資質等」を学生自身で振り返り確認する。また、実習等を通して保育の課題等を分析し、保育士、保育現場、地域、社会に求められることは何か、多様な視点から考察する力を習得する。
<b>保育実習 I (保育所)</b>	保育所の役割や機能を具体的に理解するとともに、観察や子どもとの関わりを通して子どもへの理解を深める。
<b>保育実習 I (施設)</b>	児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解するとともに、観察や子ども・利用児(者)との関わりを通して子ども・利用児(者)への理解を深める。
<b>保育実習 II (保育所)</b>	IIでは、保育実習 Iでの経験とその後の学習をふまえて、自己課題をもち保育所の保育を実際に経験する。この実践を通して、保育所の保育士に求められる資質・能力・技術を修得し、さらに自己課題を明確にしていく。
<b>または 保育実習 III (施設)</b>	IIIでは、保育所以外の児童福祉施設などの役割や機能について実践を通して理解を深める。また、これらの中で家庭と地域の役割などに気づき、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を養う。
<b>教育実習 I・II</b>	幼稚園における教育実践について専門教育科目で獲得した幼児教育に関する知識、技能を活用しながら体験的にまた総合的に認識を深め、幼児教育に関わる理論と実践を統合していく。
<b>卒業研究</b>	今まで経験した実習先で感じ、子どもに学んで欲しいこと、興味を持ってほしい内容を考え、各自オリジナルのエプロンシアターを作成し、発表する。
<b>英会話 I</b>	日常的で平易な会話文を学びながら英語表現、イディオムや文法を習得する。
<b>保育原理</b>	保育の意義及び目的を理解し、保育者として子どもや保護者に関わるために必要となる基本的な視点や取り組み姿勢を深める。
<b>子どもの理解と援助</b>	保育実践において、実態に応じた子ども一人ひとりの心身の発達や学びを把握することの意義について理解し、子どもの体験や学びの過程において、子どもを理解する上での基本的な考え方を学ぶ。
<b>子ども家庭支援の心理学</b>	生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解し、家族関係等について発達の観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。
<b>子どもの保健</b>	子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解した上で、子どもの身体的な発育・発達と保健について学ぶ。
<b>乳児保育 I・II</b>	乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割等について理解する。保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。
<b>子育て支援</b>	保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援について、その特性と展開を具体的に理解する。
<b>教育相談</b>	子ども達の周りにいる大人達の役割や対応はどうかを学んでいく。また、カウンセリングの基礎知識を学び、保育者がカウンセリング・マインドをもち、子ども達や親に対する基本的援助の方法を学ぶ。
<b>社会的養護 I・II</b>	現代社会における社会的養護の意義・歴史の変遷の把握を基盤に、子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本を学ぶ。
<b>保育課程総論</b>	保育の内容の充実と質の向上に資する保育の計画及び評価について理解し、全体的な計画と指導計画の作成について、その意義と方法を学ぶ。